

## SMFアートの宝船展 2022「くもをたがやす」出展要領

- 1 展覧会名：SMFアートの宝船展 2022「くもをたがやす」
- 2 会期：2022年3月16日(水)～20日(日) 各日とも10時～17時30分（ただし最終日は15時まで）  
搬入・展示：3月14日(月)13時～17時30分、3月15日(火)9時30分～17時30分  
撤収・搬出：3月20日(日)15時～17時30分、3月21日(月)9時30分～12時
- 3 会場：埼玉県立近代美術館 地階一般展示室 1（さいたま市浦和区常盤9-30-1）
- 4 主催：SMF（サイタマミュージックフォーラム） 共催：埼玉県立近代美術館
- 5 趣旨：

SMFは、美術、音楽、ダンス、建築、文学など、さまざまな分野のメンバーが集い交流する自由な集まりであると同時に、身近な場所でアートを楽しみ、支援し、再創造するためのプラットフォームづくりをめざすプロジェクトです。

「宝船展」は、実現したいと思うアートプロジェクトの素を夢として自由に語り表現するアンデパンダン形式の展覧会で、SMFを象徴する企画のひとつです。「宝船展」に並んだ様々な作品やアイデアが、意外な人との出会いによって新たに動き出し、幾つもの興味深い活動がここから発生し実現されてきました。

前回の「くもをつかむ」に続いて、今回は「くもをたがやす」をキーワードに多士済々の夢、魅力的な作品や活動の種が集います。「くも」は、天と地をつなぎ異世界へと誘い、自由に流れただよい、あらわれまた消える永遠の旅人。それは大いなる生命の映し鏡かも知れません。

出展者のみなさま、会場にお越しのみなさまとともに、コロナ禍に負けないそれぞれの「くも」を探り当てる場となれればと願っています。
- 6 出展作品：アートプロジェクトの素となる「夢のシート」（＝本展エントリーシート）に、これに関連するマケットや実作品、インスタレーション、プロジェクトの記録など、多彩な展示を想定しています。会場でのパフォーマンスや演奏も可能です。なお出展する作品、企画、アイデアは出展者のオリジナルなものに限ります。
- 7 出展者：SMFメンバー、アート長屋入居者、協力アーティスト、他。総勢25～30名（組）を予定（本展の趣旨に賛同していただける方なら、ジャンル、経験を問わず、どなたでも参加できます。）
- 8 エントリー受付期間：2022年2月1日（火）～2月15日（火）
- 9 エントリー用書式：

以下の2種類、SMFホームページ（<http://www.artplatform.jp>）からダウンロードできます。

①エントリーシート（A4判縦・横のいずれかを選択）：実現させたいアートの夢、アートプロジェクトの素などを記載。ラミ加工をし「夢のシート」として「くもをたがやす」展会場で公開されます。展示を想定して作成してください。

②出展者アンケート：出展者の連絡先等の基本情報、出展作品の概要情報や搬入出予定日、公演希望日など希望する日程を記載してください。連絡調整用に使用いたします。

(①、②ともPDF版とWORD版 のをアップしています。適宜ご利用ください。)

10 エントリー方法：

前項①のエントリーシートを作成、②の出展者アンケートの該当部分にご記入いただき、メールに添付して 2 月 15 日 (火)までに、[takarabune2022.entry@artplatform.jp](mailto:takarabune2022.entry@artplatform.jp) 宛てお送りください。(問合せ先とアドレスが異なりますのでご注意ください) 内容確認後、参加受付確認メールを返信いたします。(FAX や郵送での出展も可能です。ご希望の方は電話でご相談ください。)

11 出展料：無料 (ただし記録集、ポスター、キャプション等制作負担金として**3,000円**を頂戴します)

12 関連事業：会期中 (3月19日または／および20日を軸に検討中) にアーティストトーク、ラウンドテーブル、交流会を開催し、出展者と観客、出展者相互のコミュニケーション、意見交換を図り、プロジェクトの発芽を促す一助とします。またコロナの感染状況に鑑みZoomを併用したイベントを検討します。(詳細決定後 出展者に通知するとともにSMFホームページ等でお知らせします。)

13 記録集：終了後各出展者の出展記録をA4 判 2 ページにまとめていただき記録集を作成、Web 上で公開するとともに、必要に応じてまとめてダウンロードできるようにします。またカラー印刷・製本して100 部程度発行し、出展者・関係者に頒布します。

14 出展ご希望のみなさまへ：

- ① 制作・搬入出・展示撤収は原則として出展者の負担・責任で行っていただきます。搬入出・展示撤収の日程をご確認ください。
- ② 宝船展の趣旨に鑑み、会期中に開催予定のギャラリートーク、ラウンドテーブル、交流会にも積極的にご参加くださるよう、お願いいたします。
- ③ 会場での各出展者の交流を促進するため名札にそれぞれの展示作品の写真を入れさせていただきます。後程、写真をご提供ください。
- ④ 会場運営 (受付・会場係) も、SMF メンバーと出展者の共同でまかさないます。出展者の方は、3 月 16 日～20 日の会期中、会場係として少なくとも 1 回 (約 4 時間、午前は 9 : 50 ~13 : 45、午後は 13 : 45~17 : 40) ご協力ください。代理の方でもOK です。アンケートでご都合を伺い、日程を調整いたします。

15 その他：コロナの感染拡大が懸念される状況が生じた場合には、美術館の要請に従い、来場者のマスクの着用に加え、手指の消毒や検温、連絡先の記入、入場者の制限、会場イベントのオンライン化など、必要な措置を講じます。

16 問合せ：メール [takarabune2022.info@artplatform.jp](mailto:takarabune2022.info@artplatform.jp) (三浦・中村)

TEL 090-6138-4821 (三浦)、090-2143-5243 (中村) / FAX : 048-885-7859 (三浦)

\*過去の宝船展についてはアート長屋 <http://artnagaya.jp/> 内の井戸端及び物置をご覧ください。